国保ヘルスアップ事業 前年度の評価及び当年度の見直し点（令和7年度）

香川県建設国民健康保険組合

補助金申請における事業名	データヘルス計画における事業名	前年度（令和６年度）の評価	当年度（令和７年度）の見直し点等
特定健診の受診勧奨 集団特定健診と特定保健指導の土曜・日曜実施	特定健康診査受診勧奨事業	未受診者への通知は100%以上実施し、その受診率は45.1%（前年度は49.0%）。法定報告の受診率は、対前年度比1.1ポイント減の67.8%で、目標（70%）達成とはならなかった。	前年度未受診者や新規加入者、受診率の低い40歳代（特に女性）への受診勧奨（郵送と電話）を強化し、目標達成を目指す。
特定保健指導の利用勧奨 集団特定健診と特定保健指導の土曜・日曜実施	特定保健指導利用勧奨事業	集団健診当日の初回面接分割実施の効果によりある程度高い実施率を維持できているものの、対前年度比1.0ポイント減の47.9%で50%の目標を達成できなかった。	継続実施。
健診異常値放置者に対する医療受診勧奨	健診異常値放置者受診勧奨事業	健診結果通知における受診勧奨後の未受診者が対象。ナッジ理論を使った分かりやすいデザインの通知書を対象者に送付。対象者（875人）への通知率は100%。医療機関受診率は11.0%（前年度10.0%）。なお、通知とは別に、特に急を要するような異常値の場合は、組合保健師が訪問や電話による保健指導を実施している。	継続実施。
がん検診有所見者受診勧奨事業	がん検診有所見者受診勧奨事業	検診の約1か月後に受診勧奨通知兼アンケートを送付し、その後レセプトにより医療機関受診の有無を確認。有所見者への通知率（フォローアップ率）は100%。再検査受診率は、肺がん：63.4%（前年度69.4%）、大腸がん：51.5%（前年度49.7%）、前立腺がん：60.4%（前年度49.1%）、乳がん：100.0%（前年度100.0%）、子宮頸がん：75.0%（前年度100.0%）、胃がん：100%。	継続実施。
アスベスト検診と禁煙指導事業 （職業病対策）	アスベスト検診と禁煙指導事業 （職業病対策）	アスベスト二次検診受診者のうち喫煙者18人に対して、組合保健師が医師の協力を得ながら禁煙指導（禁煙外来の紹介を含む。）を行った。3か月後の電話確認では、禁煙が1人（5.6%）、減煙が1人（5.6%）、残りの16人は変化がなかった。	継続実施。
生活習慣病治療中断者に対する医療受診勧奨	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	通知書をナッジ理論を使った分かりやすいデザインの通知書を送付。対象者（50人）への通知率は100%。医療機関受診率は、42.6%（前年度70.0%）で、下がったものの目標（40%）達成。特に医療機関受診が必要と思われる対象者については、組合保健師が訪問や電話による保健指導を実施している。	継続実施。
糖尿病性腎症重症化予防のための保健指導	糖尿病性腎症重症化予防事業	対象者123人中、指導着手者は5人（4.1%（前年度2.7%））で、うち指導完了者数は4人。完了者全員の身体的指標や自己管理行動指標が改善した。生活指導を実施する医療機関が増えたため、本プログラム利用者は減少している。 前年度の指導終了者5人全員に対し、指導終了から半年後に、直近の検査結果の提出を求め、電話によるフォローを実施。体調を確認し、自己管理継続を支援した。	継続実施。
重複・頻回受診者の保健指導	受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）	4人の対象者のうち3人に指導を実施（実施率75.0%。目標80%）。効果測定対象者2人中1人に受診行動に変容があった。（改善率50%。目標50%）で、目標を達成できた。年間換算の医療費削減効果額は約7万6,300円で、対象者が少なく、重度の重複・頻回受診者は存在しないため、医療費削減には大きな効果はない。	継続実施。
服薬情報通知事業	服薬情報通知事業	ナッジ理論を使った分かりやすいデザインの通知書と、ポリファーマシー等について分かりやすく解説した小冊子「あなたのくすりいくつ飲んでいますか？」を送付。対象者（60歳以上で、複数の医療機関から6種類以上の薬剤を処方されている者）137人全員に通知を送付。医師会、薬剤師会に文書により協力を求めた。医療費・医薬品種類数・重複服薬・慎重投与の評価項目において改善したものの、削減効果額は約6.4万円と少額である。	継続実施。
40歳未満を対象とした健診の受診勧奨	30歳代の健診事業	対象者全員に、自己負担なしで受けられる集団健診の受診勧奨通知を送付し、受診率は、前年度比4.1ポイント減の33.2%（目標40%）。令和6年度40歳到達者の受診率は、53.0%（前年度実績53.%）で、目標の65%を大きく下回っている。	40歳到達者の受診勧奨（郵送・電話）を特に強化する。
特定健診・特定保健指導の普及・啓発 40歳未満を対象とした健診の受診勧奨 個別性の高い健診結果通知 健康カレンダーの作成 その他の保健指導 健康づくりイベントの開催	健康づくり、医療費適正化に関する広報事業【ポピュレーションアプローチ】	「特定健診のご案内」「健診結果通知（クピオプラス）」「健康カレンダー」等の通知率100%。 健康づくりイベント（生活習慣改善のための料理教室、ロコモティブシンドローム予防教室、健康ウォーク、運動会における健康コーナー）を実施。 歯と口の健康に関する広報を実施。	継続実施。